

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子ども家庭支援論	2	後期	講義	2	畠中親徳
□授業の到達目標及びテーマ					
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の子育て家庭を取り巻く現状を理解し、保育者による家庭に対する支援の意味や可能性についての学びを深める。 ・実際の保育場面で必要となる家庭支援のための知識や支援者としての視点・姿勢を得る。 					
□授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・統計的資料や事例等を用いながら現代の子育て環境や保育者による家庭向けの支援に関する基礎を解説する。 ・事例に基づいたワークなどを適宜取り入れながら授業を進める。 					
□授業計画					
第1回 子ども家庭支援の意義と必要性					
第2回 子ども家庭支援の目的と機能					
第3回 家庭の変遷と現代の家庭					
第4回 子どもの育ちの喜びの共有					
第5回 保育士が行う子どもの発達と家族支援					
第6回 保育士に求められる基本的態度（受容的関わり、自己決定の尊重、秘密保持等）					
第7回 コミュニケーションと子育て					
第8回 子ども家庭支援における関係機関等との連携・協力					
第9回 子育て家庭の支援体制（男女共同参画社会の中で）					
第10回 子育て支援策・次世代育成支援施策の推進					
第11回 地域への子育て家庭への支援					
第12回 課題がある家庭への支援					
第13回 障害を持つ子どもとその家庭への支援					
第14回 世界の子育て支援					
第15回 子ども家庭支援に関する現状と課題					
定期試験					
□テキスト					
『児童の福祉を支える家庭支援論』吉田眞理著（萌文書林）					
□参考書・参考資料等					
「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館					
「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館					
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館					
□学生に対する評価					
定期試験 60 % 講義への参加態度 20 % 授業課題 20 %					